

香取市長賞

税を理解すること

香取市立小見川中学校三年 石 本 美 羽

日本人に税金とはどのような存在か、と尋ねたら「生活を苦しくするもの」、「負担なもの」、なぜ税金を納めるのか、と尋ねたら「義務だから」と多くの人が答えるだろう。

日本人の税に対してのマイナスな言葉が多いのは私達が税金の使い方あまり興味がないからだと考えた。税金を仕方なく納めて、テレビや新聞などで税金に関する悪いニュースだけを聞けば日本人の税に対する不満の声は多くなるだろう。租税教室で税について、しっかりと学んだ今、私はとても税金に感謝している。なぜなら税金は私達の生活になくてはならないものだったからだ。

もし、日本に税金がなかったらどうなるだろうか。毎日、当たり前のように使っている水は使えなくなり、水がとても高価なものになるだろう。道路や信号などが整備されなくなり交通事故が増えるが、交通や火災事故に駆けつけてくれる警察官や消防士の方々はいいない。窃盗や詐欺などの犯罪も増え、日本の治安は悪くなり、海外からの観

光客が減り、国際交流がなくなる。大規模な地震や津波、土砂崩れが起きてしまったときに助けてくれる自衛隊の方々もない。災害大国と呼ばれる日本はどうなってしまうのだろうか。病院では医療費が全額自己負担となり、お金がない、という理由で助かるはずの命が助からなくなる。学校でも教育施設の建設や教科書にも税金が使われているため、お金の余裕がない人は学校に通えなくなってしまうだろう。

このように日本に税金がなくなったら数えきれない程の問題が起こる。貧富の差が激しくなり、お金のある人は安全で良い暮らしを、お金がない人は安全が保障されない苦しい暮らしをすることになってしまう。これでは、自分達の生活はもろろん、日本という国としても成り立たなくなってしまうのではないか。

このようなことを考えると税金が私達にとって、とても大切に重要なものということが分かる。私達の豊かで安心した生活は税金によって支えられていたのだ。国民一

人一人が税金について目を向けることで、少しでも税金に対する考え方や意識を変えることができるのではないだろうか。新型コロナウイルス感染症による景気悪化や少子高齢化による働き手不足など、たくさん問題があり、将来また消費税が上がる可能性もある。さらに、これから消費税だけでなく、様々な税と関わっていく。なので私は税金の正しい使いみちについて考え、社会の一員として、よりよい社会を築くために、税金をただの義務と思わず、私達の生活と未来のためと理解し、関わっていききたいと思う。